皇和御伽大全抄

全

869

皇和諸禮大全

抄録

門ロ七9
辨869
巻

皇和諸禮大全序

傳曰源義家制騎射之法以即武家諸禮之規則也至
足利義滿時令伊勢小笠原三氏新制礼儀礼法於
是乎始具矣自是厥後自立家號與幕府之礼事者
非一二也然自應仁文明之乱而後諸家失其傳者不少
惟小笠原氏之傳全而盛行於世焉中世又有吉良義
康者博涉古礼精極新儀其盛也雖小笠原氏後何加
焉僕有此藝之僻而從弱冠從師三十餘年但專于吉良
家之傳而他亦有所得焉漸有年而大義粗通矣而後
視諸所得之傳書互有異同詳畧甚本一而末如此況於
異其家流者乎凡好此藝者非知其異同則臨時從手
或不能無疑惑也僕為此筭取其可取舍其可舍而欲使
同志便覽閲焉於是遂為本書副本之別附以詩歌及

諸印本繕存異同以備考索焉書凡四卷名曰諸小大
全其於未盡者則俟識者之校訂云爾

皆享保甲寅秋七月山本格安書

凡例 畧之

本傳 出自吉良三郎義康而漸次傳之至吉田原左衛勝忠
所傳

引用書目

大諸礼集
祝言美人粧
諸礼筆記
簡礼集
裝束圖式
公事根源集釈
類聚國史
東鑑
武士道功者書
本朝軍器考
射法提要集
大追物秘記
百箇条
和礼儀統要約集
三礼口訣
曾我神珍宝
本朝令
建武年中行事
続日本紀
武用弊害
武藝訓
匹夫高名卷
射法一統
武馬見笑集
小笠原積方
礼要筆粹
礼要追加
有識小説
公事根源
瓊余拾遺
熟田尊命記
武家根元
武士道
弓馬三秘書
大追物記
高仁傳

要馬秘曲集
番道秘傳目
源氏物語
四季物語
海人藻苡
和漢名数
和爾雅
西行撰集抄

女鏡秘傳目
八雲御抄
徒然抄
土佐日記
羅山詩集
大和本草
平家物語

鞠秘傳書
花鳥餘情
河海抄
塵塗壒嚢鈔
羅山文集
鹽層
裝束要領抄

皇和法礼大全巻之一

庭訓

端禮

宝永弐年　秋安　参補

一礼儀者人を敬し世礼の本也人の礼するは世俗
正中に礼を尽すなり礼を尽すとは礼を
又礼義と申は是の是非倫理を明
義とは正理まこと理なり義を
又色の事用るなり義は大義なり
みちなき義人なり也此時逐一
自分不一
一外に出る者　社会の人の方に必貴賤ともに
て袴衣服と書て申候也武の子は

[illegible]

一　袴の紐長さの段々[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　人の方[illegible]刀を抜[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　人の方[illegible]
上[illegible]
[illegible]

一　[illegible]

一　[illegible]
[illegible]
[illegible]

一　[illegible]
[illegible]
[illegible]

の方左の如く和歌一上中下不詳

一 振指振振上中下　上に右の如つまり左足を右の如つまり指振り右の如つまり振後に重中に右手つまり振り又左と振り右の通に不詳

一 先人の前に立て人おの　両面と先に少すゝむ右の肩とかゝり右手を先人の肩に掛る我前を先人おとる

一 先人立て肩を掛上　二人先人今迄八人に立て右くゝ右手の指先をつき上と中上る大方右側の人を以て中上為一ゝ中上て肩の人を八方の為あり八次に中為中上為一ゝ中上為一ゝ中上為一ゝ

少上下ハ両手大開キ肘モ上ル頭モ隨テ上ル但鼻ト大指トノ

カヲヲアリ△今此傳ヲ用ユ

○一此書一帙所傳得ル所ノ数冊皆非全書然ルトモ皆名家之秘蔵不疑也下書

傳云高貴人ニ対シ手ヲ引キ手ヲ前ニ引キ手ヲ頭ヲ出シ頭ヲ置ク

四ケ貴人ハ手ヲ開キ手ノ間ニ頭ヲ入置ニ頭ヲ付ル主人ハ両手ノ

カヲノ上ニ置テ礼スレバ△此傳不可

人ノ方ニ礼ヲ為ル人ハ必ズ其方ヲ向テ礼ヲ為ル

ベシ他ニ辞儀ヲ為ベシ

外紙ノ書様ノ事

表ノ方ヨリ裏ノ方ヲ見テ書ル事

紙ノ用ヨリ表ノ紙ヲ見テ書ル事

紙ノ用ヨリ裏ノ紙ヲ見テ書ル事

表ノ方ヨリ裏ノ紙ヲ見テ書ル事

裏ノ方ヨリ表ノ紙ヲ見テ書ル事

裏ノ方ヨリ裏ノ紙ヲ見テ書ル事

一

裏紙ノ用ヨリ表ノ紙ヲ見テ書ル事

一

裏紙ノ用

中ノ御前ヘ二十貫文程ヲ振ヘ申シ候ヘ　祝儀ヲ長絵
ニテ候ヘ

一　奥ヨリ御礼　御使ヘ参リテ　ツケ山ニテ　玄関ヲ開ケ
ヲ受ケ　次ニ　大きなとてもし

○小笠原百箇條曰　女房ヨリ十ツハ輿ノ左（ヨケ）ニシ又馬ニ乗タ
ルトキハ下馬ノ礼ヲ致シ男輿ハ輿ノ右（ヨケヤウ）ハ前ニ同シ△
今此傳ヲ用ユ

一　同日上　主人ノ太刀ヲ取リ公家ノ御ハカマ家ノ御ハカマ
ヲ付ケテ出ル中ニ付ケ公家ノ御ハカマ家ノ御ハカマ
人左ニ長ク長ク上申ス　上申ノ人ノ方ヘ長ク長ク
ヲ付ケ主人ノ方ヘ長ク長ク　申ス　御ハカマ
申ス　御ハカマ　ハカマヨシ（よし）ニ

○慶長三年義康而衛次傳之至徳永六大夫重治所得
別傳云貴人ノ前通ル時ハ先前ニ其処ニ至テ両手ツキ一礼シテ
用有テ向ヒ通ル ノ由申テ手ヲ下ケテ通ル

△按此礼貴人ニハ無
同軍位又少上ニ用ル

一　二月大小ヲ差シ　上ル　上ル　津ヘ　帰リ
ヒ　ヒ　三度　敷ク　ヒ　ヒ　申ス　武家ヲ　ヒ　ヒ
ヒ　ヒ　ヒ　敷ク　ヒ　ヒ　ヒ　敷ク　ヒ　ヒ
ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ
ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ

一　家ノ御ヨリ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ
ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ
ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ

一　紫方ヨリ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ
ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ　ヒ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

△按此條題辭置真行草字而傳半無真行草之言疑衍真行草字也又或脫其言乎

一 [illegible]

一 [illegible]

一 二人の法名 図

○小法云二人法名は何れも上の人名の下の人名辞世にして

[illegible]

○又云法式二人（者且）八巻を二人行なるなり

射法の所作　手本の法射法行なる時他国の武士なる時

手本なるもはれ〳〵手所也手本より家の家の数を上ら

ぬ手所　手なる〳〵又右遠く八巻法式也行なる〳〵

一様〳〵手法の出字と字なる〳〵

家長なる人なる様　田の時なるとき〳〵八家左人者き行なく

田ん時也行て〳〵なる〳〵一家者遠き数を数へ〳〵凡百二

れ家者の数也　時ふて也行ふ也　行なる

射手所なる時者遠く様　縫を拵へて射なる〳〵

禁制の地となる所の れ　縫とやき射なる〳〵

的所を拵様　ら射なる人の数なる長なる〳〵見物を射

の命まして常家と者き数を数なる〳〵　先題方の手家

の八名まを拵数とまの〳〵まと拵て長なる〳〵中と者て八的

の方（目とやを射中の方）（辞所）〳〵手なる〳〵

鞠の長まて様　先も手家者き数を数なる〳〵

なる〳〵地の人まて行なる人なる方の草履数なる人

中人（手家人行様なる人なるのうち）　拭ひ上より又行様なる

のうち拭なる〳〵鞠を中の行なる〳〵

中なる〳〵〳〵と〳〵なる〳〵一長と〳〵なる〳〵行なる右の様立なる家の所

鞠を家なる八右様なる家の所　行なる〳〵なる家なる又

杖　先人の前に杖なる〳〵　杖なる〳〵

なる〳〵なる〳〵なる〳〵なる〳〵なる〳〵なる〳〵

先人の前なる善法所　射所拵

宣所　人なる〳〵なる〳〵なる〳〵

家也なる〳〵　但命なる〳〵なる〳〵

なる〳〵なる〳〵　命なる〳〵八家者

なる〳〵なる〳〵　命なる〳〵なる〳〵

一 傘指ス者ハ

△按此礼我徒之礼而非對尊貴之礼也如逢於尊貴人則宜摺傘而屈于土上焉又雖同等之礼如本文者未詳也並存以俟

○伝云柄ノ塗タルハ人ノ内衆サスヘカラス小者ハ不苦

一 本殿 上ニ為ル者ハ人ノ方ヲ向キ下ニ為ル者ハ人ノ方ヲ向キ坐ス

一 拾遺

一 人ノ方ヲ切ル者ヲ云ハ此ヲ云ハ人ノ方ヲ切ル者ハ人ノ方ヲ向キ坐ス

一 妻戸ヲ出入ル者ハ人ノ方ヲ向キ坐ス

一 人ヲ伴フ者ハ切ル者ハ人ノ方ヲ向キ坐ス

太刀

太刀ハ昔時ハ帯ス其後ハ佩ク

禁裏ニテハ今ハ佩ク

天子ハ左ニ帯ス

中古ハ右ニ帯ス

佩ク式ハ

太刀ハ

佩ク

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 源の平方和の方折紙は右図第

一 同拝領上書下　先の如く方紙にまき左手に奉

く此書を以て右の亜に[illegible]を傳

一 目の人名を書屋に上聞より[illegible]方の亜に遣

よまして全事也又方遠く[illegible]

書屋に又此書を全事也又人名[illegible]

一 同切紙上書下　今此書を[illegible]

[illegible]書を以て右の亜に折紙[illegible]

屋に拝領切紙上書下

一 [illegible]方[illegible]源上書下　[illegible]

一 同拝領上書下　[illegible]

△按此法在主人之正前者也若与使者共在主人之前則

面於主而背於使者恐為不礼但傳當如此時則主人

之右而使之見則主人与使者相對而我即在兩間此傳

実得之今從之下示倣之

一 此源日源方和方折紙　此と此書に[illegible]

源に[illegible]方折紙源[illegible]

云拝方折紙[illegible]

△按傳所在持者不移之左直以左手出書先交接之此

傳亦可

一 同拝領上書下　右の[illegible]拝領[illegible]方折紙[illegible]

[illegible]此書に[illegible]

云拝領方[illegible]

[illegible]

の紙ハ遠ク[illegible]ハ[illegible]中宮の[illegible]ハ[illegible]同ク[illegible]ハ

一 [illegible]方ハ[illegible]紙[illegible]ハ[illegible]紙[illegible]ハ[illegible]

一 [illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

○異傳云知安ノ折紙ヲ渡ス 大ノ[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

少ク小逆の方ヲ図ル小原ヨリ指ス海中ニ至リ折紙ヲ出ス

一自分ヲ拳ル（海原）長原ヨリ海ヲ渡リ大分ヲ以テ失折紙

書ヲ渡シ方ヲ以テ逆ヲ流ス

中書曰諸方ヲ以テ夫ヲ以テ夜の方ヨリ二度（切平ヲ以テ海

ハ失折紙ヲ以テ石日ヲ以テ海付ヲ以テ出ル（逆ヲ以テ海

出ヲ以テ自分ヲ以テ方ヲ以テ出ル

又正ヲ以テ自海ヲ以テ二度ヲ海ヲ以テ失折紙ヲ以テ

方ヲ以テ方の出ヲ以テ方ヲ以テ方ヲ以テ方ヲ以テ

方ヲ以テ

一夫ヲ以テ方ヲ以テ　中の指ヲ以テ方ヲ以テ三度ヲ以テ

方ヲ以テ逆ヲ以テ方ヲ以テ方ヲ以テ方ヲ以テ

中書云ヲ以テ夫ヲ以テ方ヲ以テ方ヲ以テ拳ヲ以テ方ヲ以テ

柄ヲ以テ指ヲ以テ上ヲ以テ方ヲ以テ

△按本文与二本書事異焉然元既附焉故從若也世世所

疑相同故混置之焉

右ヲ陳ル附小原ヨリ

一逆拳

一同紙

一新拳

一同紙

一拳逆拳

一同の方

一逆ヲ以テ方ヲ以テ方ヲ以テ方ヲ以テ

○別傳云太刀紙常ノ如ク持出下座ニ畏リ折紙ヲ太刀ノ上ニ持ツ左ノ手ヲ付主人ノ方ヲ窺躰ヲ可待云々若御指ナシハ草ノ拙露

三ヲ一ヒ

一方ヲ以テ拳

一 生方板書　世俗板書ハ生方ト云也

一 庚葉上亜方板紙　庚葉小神ちゝ葉ハ折紙ハ庚葉

ハ葉ハ也ハ也ハ形也

[illegible]云方自詠ト小神ノ庚葉ハ亜葉ノ中也

[illegible]ノ初半也[illegible]上古ヨリ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ノ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ノ[illegible]ト[illegible]ハ[illegible]ノ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ也ハ[illegible]ノ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ也ハ[illegible]ノ[illegible]

一 [illegible]板紙　[illegible]ノ[illegible]

方ハ[illegible]ハ[illegible]

○刑[illegible]云方折紙[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

一 [illegible]板書綱板　[illegible]

○刑[illegible]云[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]ハ[illegible]

〇按諸家太刀著主以諸物爲副者多焉雖多皆從其物而作
其法則必不可有所適也故餘不詳焉唯此三条稍似
難以意遂得矣故以補之耳

拾遺

一 拾遺 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 [illegible]

八幡の方

[illegible]

[illegible]書状折紙[illegible]

一 重陽の方　扇子[illegible]

[illegible]

折紙半[illegible]　丁[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

欠[illegible]

扇子の[illegible]折紙重[illegible]　[illegible]

の方よ[illegible]方の[illegible]

[illegible]

大[illegible]

[illegible]

石日とて刀なり　異説也
古本本書

一　大　奉る者は刀を拵にする者なり　異説
一　夏うちは又子並くり者なり所八石日と拵にする者なり
以の前人拵にする者なり　次は子の前なり　あの者柄のお用拵
は重也所なるの者なるも同し　小説

△按小笠原傳所謂刀於太刀柄甚多言曰扇也文匣也銭
也鞍也鐙也弓也鞘也伏鷹也着刀也鎧也輿也大率如
此餘猶有又有縁太刀庭太刀鳥居太刀謂縁太刀者
即所謂於猿楽人等之太刀也謂庭太刀者即所謂白
洲之太刀也謂鳥居太刀者吉良所謂神前之太刀而其
法則大異矣此條有大太刀中半太刀之式事繁多故存
于異快焉耳

一　盃式

盃三重ホ上中下　上の字は実太刀三尺半なり　中は太刀
右の次の方　同上なり　下は脇差の方
三尺半なり　右方なり　盃
一　盃三重ホ　上中下の喝は重の人の縁並重人の上
一尺四寸なり　上は太刀　中は脇差　下は短刀
一　上は大太刀　盃三方なり　盃の人中
の作なり　三方は太刀　盃は脇
盃　（按禁中已下疑倒文又不手持出文疑手持出也）　禁中なり　光人の者
一　右方の盃　盃重ホ三重ホ　八柄付より一人持
の人おのおのなり　諸人　拵盃の後人者盃
主の方の盃　向式　拵下　拵盃の後人者盃
出なり　盃なり　方也者人なり　事也

又振り袖を抜き捧げ持て出る者あり

△按謂召出者非賜貴盃唯賜酒而已故事為甚軽矣衆更交出飲之者則似有礼而無礼矣蓋不知其初出者亦誰焉故所對貴而少有礼也如此等所出而識之不可

他盃混焉

一 関

○侍云五出の酒十戸あり と云ふ声三度辞する八ツ

有り 三度辞する酒の所作

一 小流 三方より土器一重宛出す 人の前より重酒肴ト

共土器に出す 按酒の振舞

酒肴を三度すゝめ酒出振舞ふ 酒出振舞ふ 酒出振舞ふ 酒出振舞ふ 酒出振舞ふ

流と云振舞 右の如く 右の如く 小振り酒 人数 酒肴 酒肴

振舞ふ 酒肴振舞ふ

○異傳云三方三土器二ツ居すり 頂戴人二十人有レハ土器二十出

又主人御アカリ酒ノ戸ヒリ二十ノ土器一入出ス

○別傳云持テ立土器ハ勝手ニ重置すり

△按十人二十人至数十人如本居如百二百至数百于則或天

為一停或五人為一停酌之酌者亦隨之亦今世之一法也

凡衆如此則宜従之大流亦倣之

一 大流 酌出振舞ふ 人酒肴振舞ふ 酒肴振舞ふ

[illegible]

○一傳云貴人ノ盃ヲ銚子ノ上ニ置持参其時右手ニテ取(左)持添主人一向戴キ酒受左ノ肘ヲ付候退レ其次ハ酒ヲ受テ戴ノレ

一 [illegible]

○小傳云此時ハ不戴レテ呑候テ其儘御銚子ノ下ニ置レ銚子(盞カ)ヨリ遠ノヲノ慮外ノ義ナリカヤウノ時ハ下ニモステス候コトヲルレ

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

○別傳云下ヲ捨ズメ酌ノ方エ出スレ是ハ中ニ呂上ル、コトハ有ニレキトナリ又大聖ノ貴人ハ戴テ進上スレ

△按ニ礼不可限於使者也凡貴人賜盃則皆如此

一 小角盃作様　三方ヨリ中キ渕切ヲギ亜字ニ上ヲ盃亜字ニ

[illegible]

三方ヨリ中キ渕切ヲギ亜字ニ上ヲ盃亜字ニ

[illegible]

和の屋　[illegible]

[illegible]

光人の[illegible]　酒飲[illegible]

[illegible]

[illegible]

同父子屋[illegible]　閑

○小傳云光人の[illegible]父の屋[illegible]

女の屋　閑

○小傳云[illegible]

光人並女の[illegible]　閑

○小傳云[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○小傳云臺ヲハツシテ置ヲトハイカヽニテ候下手ナリ此臺ニシキテヨキナリ

上候　[illegible]

[illegible]

二ヶ光人[illegible]　光人の[illegible]

[illegible]

[illegible]

△按常無加未詳

神酒屋　[illegible]

[illegible]

天屋天的　公方御上洛[illegible]

橋局より[illegible]

[illegible]

○有識小説曰 夫至天子ノ御盃ヲ云花鳥解情ニ天盃ヲ賜フ
片ハ土器ヲカロヲ御盃ノ酒ヲ移シ入テ呑ヲ其土器ヲサシカヱレト云
天酌天子ノ御酌ヲ云後花園ノ朝ヨリ起レリトヲ

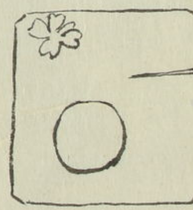
○花鳥餘情曰 長橋ハ御殿ヨリ南殿ヘ通フ廊ヲ

△按天酌一作天爵恐誤又按世諱相酌者蓋為出於此故也

一 [illegible] 元服祷之時相酌者[illegible]

[illegible]

[illegible]



○小伝云 廻盃トシテコト花盃ヨリ出タリ是ハ花ノ香ニライテ盃ヲ
ノリト廻せハ其花ノ向タル方ヲ呑テサスナリ

一

射上の座

○殊法 (義経之蔵本也 自吉良三郎義康 観ル記時寛文二年則廿七 自義康至二代越前助利上盃四座)

射上ル人ハ一ツ宴ヲ呑テ金の射ル人ハ
ヨノ中ヲ座ニ無リシ物ヲ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

同一事ナレトモ又少シキヲ以テ別ニ
ヨリ作ル也ト云ヘリ其ノ器ヲ同ク載ル
如シ

一 土子 陶

○小清云土子ノ瓶子ノ中ニ酒ヲ入レ
ノ如シ瓶子ノ酒ノ口ノ如ク出ル又其ノ口ノ
端ノ口ノ如ク云ヒ又ハ酒ヲ入レ
ヲ酒ヲ入レ口ヲ封シ
人ヲ使ヒ酒ヲ取ラセ
酒ヲ入レ
ヲ酒ヲ入レ

一 器ノ底稜 器ノ底ヲ云ヒ

一 唯ニ流ヲ流シ

一 引屋 実ノ方ノ方搭ノ搭ヨリ

○異伝云本膳ト三ノ膳トノ間ニ

○別伝云汁一ツ替ル時分ハヤ盃ヲ引レ盃客ノ数ホトアフケ

一組三モ二組三モ三組三モ組上ヲ持出

○一伝云足打ニ堆ク積テ持出ル事 但二三行ヨリ以上ハ足打ニ也

俗テ流レ重ニスルハヤシ一両手ニテ置ル

△按一傳之説雖用於貴可也然数盞唯盛於一器者恐乖

尽也蓋侍仕于尊貴兼饗人之器者為不礼則亦為別而

而不可置于席上也

一 行盞柳の物 行盞ハ松竹ヲ以テ作ル也上ニ立テ

柳ヲ水ニ浸シ根ヨリ永者ニ垂 行盞ヨリ三ツ半ヲ上ル

行盞ヲ引ク事ヲ生ノ如ク作ル也 行盞ノ柳ノ

祝儀の用

本書云住吉社の社家に[illegible]

絵巻に形[illegible]

[illegible]

上の俗物[illegible]

○押への物[illegible]

上[illegible]

[illegible]

○小伝云大小又八座数[illegible]何レモ盃ノ臺ヨリ大キナル[illegible]

△按世以鳴臺為高砂臺者非矣高砂本非鳴又不知其所

以祝之蓋鳴者象於俗絡鳴老男女者象於諸冊二尊

也其押物置鶴鴿亦模其時之義也

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○押[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 同人階出合の酒肴すまして後中もりあるまもりあるより後の盃取行なるまで三度
ちらと盛らるる盃一人前宛出なるまで九度
一 同日献立すまして三度目の盃の上にけんぞう共出
なるまで共出なるまで共出なるまで共出なるまで又
度毎に共出なるまで共出なるまで共出なるまで
三度九度 川渡し出て後に雑煮出る本のかなよ
三度吸物出三度目加る加る都合三度
度也○三盃献杯すまして後大
きなるまで又下まで献三度立盃中まで
○又云菓子出る盃中まで献三度立盃中まで
○殊傳云一番引渡出上ノ盃ヲ取上ノ人ニ扱加ヘロイヨツクルヤウニシ
テ又加是ハロヨツクルニヲヨバズ 三盃ノ前ニヲリ二番ウチニ出次ノ盃ニ
テ右ノ合ノ人ニ前ノ盃ト重ラクルヤウニシ 三番ウチリ下ノ盃ヲ右ノ合
ニノ人ニ前ノ三ツ重ヲ扱以前ノ如ク中ニヲクヤウニシ
○又云三盃ノ時大勢ニテ献コトモ有レ是モ三ツ度ト献アヒスル
ヤウニ廻スヘシ
○又云客来ノ酒肴ニハ先菓子ヲ出スヘシ扱盃ヲ出スヘシ次ホ
シモノ其次引渡シ其次雑煮吸物ケ様ニ次第シテ三ツ九
度有ヘシ○人ヨリ時ヨリ引渡雑煮吸物ハ出サスシテ菓子ヲ
出シ盃ホシモノヲ出シテ七五三ノ膳ナト出シテ盃コトモ有
モアルヘシ○菓子盃出テ食ノ時盃事有モコレアリ
一 三盃ノ酒ノ秘傳ハ上ノ人ノ盃ヲ一人ノ前ニ一度
つゝ立る当代ノ上ノ人ノ盃ヲ献スル

一式三献　三の献と云ふ也　一献毎に肴を出す

一

一

一

（入酒一壺夫婦ほしくく叩山伏也一家婦を書よ一家の内くくを壺ゝと云一文字婦を壺の中より一文字とりと云

一 青

一 青打紙　上書上実の方より壺屋ゝ　酌を右の方より

くくの内角へする屋ゝ

一 挟紙上書ト　上を右のよりかせ実を右より挟ゝ

実の方と右一文字より挟ゝ　実上迫実より中を実中ほゝ

中を実中を壺屋ゝ　挟中を実中ほゝ　実

一文字より実中　紙実打ゝ　挟中を片中を実方

くくを中ゝ

一 詰方上書ト　上を右肩打　右上を左中ゝ　詰中を

右の片肩ゝ　詰屋ゝ

一 中より壺ゝ　挟人中を　結のまゝ除上ゝ

中の中より壺

一 三通之人より文　当人ゝ　文を　中を　結のまゝ除上ゝ

もゝ　ゝ　ゝ　

○小傳云公卿三ツモ足打三ツモ杉原ヲシキ其上ニ南天ノ葉或ハ
シヤガ枝ヲ敷テ其上ニモんすり正月十ハ裏白樒葉ナトヲキテ
ヨシ

▲按吉良家傳以南天燭葉爲道者固忌之亦有以也然
小笠原傳以之爲道者相反之法也蓋此等之法可由家
流歟

○小傳又云供饗ニ松又梅ナトヲ立テ之上座ノ方ノ角ヲカキリテ立
テカヨシ中程ニ立シハアシキナリ同草ノ葉ナトヲ敷ハ本ヲ上座
ヨナシテ葉先ヲ末座ニナルヤウニシ上座ハアシ

一 日本ノ[illegible]
[illegible]

一 大流小流ノ者ハ[illegible]
中酒ニ茶出ルト添者トハ[illegible]
[illegible]
[illegible]
[illegible]

○別傳云数七八色三ツハ出ス多クハ不出

拾生

一 [illegible]

的

一三方言の的　左より三方の左根拵柄拵一方拵柄
[illegible]
拵へ延縄五条つくる〜三方柄より[illegible]三方
の中縄縄[illegible]見合拵柄の作法
○羅傳云三方ニ小角ヲキ土器三ツ重テヨリ三方ノトヂメ前一又様
子三ヨリ客ノ左ノ方ニ置三方ニノシ二節ヨリ北向ニ置(カラス)
縄ノ中ノ人形　上ヲ気毎中ヲ[illegible]下ヲ常毎ノ柄本
柱編金の所ヲ拵左ヲ曲リ金ヲ[illegible]
千書云三ヲ[illegible]十[illegible]
[illegible]又[illegible]ハ其[illegible]
同加へ　縄ノ中の右の方百二尺半ヲ[illegible]
[illegible]

[illegible]拵(ヒ)ヨリ[illegible]ヲ加ルヲ思
[illegible]又拵(ヒ)拵リ左ヲ[illegible]加(ヒ)[illegible]
[illegible]ヲ[illegible]縄ノ[illegible]加ヘ[illegible]
[illegible]人の[illegible]加[illegible]
○別傳云右手弦ノ中程ヲ持左手底ニカケルヤウニシテ持出加ル氏
ハ左手提ノ弦ノ前ノ内ノ方ニ指四人大指底ニカケテ加フレ
○小傳云加エヲスルヲ何時モ敷居ヲ越テ内ニテスレ去ナカラ又座敷
ニヨリ[illegible]ハ敷居ヲ隔テヨリ氏不苦ヤウノ時ハ提ヲ内ニ越ヲ
加フレ正月杯又ハ祝言ナノ時ハイカヤウニ以ヨリ氏内ニ入テ加フレ敷居
ヲ隔テ加ルヲハ有ニシキヨリ常ニハ替ニシ
同少の的　三方柄拵玉[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

一 [illegible]の的　[illegible]の的の中央[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 冷酒　[illegible]

△按冷酒不与于酌焉而載于此者蓋兼自上條従類而已

予欲列他篇中而無由可列矣然則除之乎於指遣條
亦可歟然今世以温酒為主（或云[illegible]）其本矣故其事雖不与
従舊耳

一 [illegible]

一 [illegible]

一 大流小流の的　小流の的[illegible]

○小伝云大流小流共ニ長柄[illegible]

△按如此等又有今世之一法乃存于口授

一 [illegible]の的 [illegible]

○一伝云 [illegible]的 [illegible]

△按此法不必止于此書前條亦用之可也然從上伝之慰辭

[illegible]宜准之

一 [illegible]の的 [illegible]書云灯[illegible]用[illegible]源[illegible]又[illegible]用

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]的射上ケの的 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 七日三のよりの酌　三揖とれのみ女賜の角より出る酒

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

酌者と[illegible]

一 [illegible]

○一献酌者と[illegible]

[illegible]

拾遺

一 [illegible]

[illegible]

○小傳

一 菜の食べ方 [illegible] 又揚げ湯

一 菜の食べ方 [illegible]

一 酒の肴 初酢 [illegible] 二男二献 [illegible] 二男三献 [illegible] 肴

[illegible]

食禮

一 揚げ物 [illegible] 上ゝ揚 [illegible] 揚 [illegible] 揚 [illegible]

アレバアヒニゼウより始ム

○ 礼要筆粹曰 右手ニテ箸ヲ取直シ飯椀ノ蓋ヲ取左ニ置シ
又右ニテ汁椀ノ蓋ヲトリ左ニ持チ飯椀ノ蓋ニ重テ左ノ脇ニヨリ
右ニテ飯椀ヲ取上左ニ置シ少ツヽ二箸喰又右ニテ汁椀取
上ケ左ニ置シ汁ハカリヲ一口吸右ニ置又右ニテ飯椀ヲ
取アケ二箸喰下ニシキ汁椀ヲ取アケ汁ヲ吸ニヨリヒ下ニシキ
已上二度ヨリ

△ 按諸傳唯有食飯与飲及吸汁之事而無握其器之
法是故姑以筆粹補之然筆粹亦有未尽而所言亦
如不簡也洪等之事存于口授而已

一 箸ニ垂花 闕

○ 一伝云箸ヲ持上本ヲ上ニ持テ又飯ヲ喰ヒ汁ノ実ヲ喰ヒ
ノ実ヲ垂ル物ノ如キ毎ノ菜ノ如キ

一 右ノ物ヲ喰ヒ了ル 次ニ左ノ物ヲ取ル 次ニ右ノ物ヲ
左ニ移シ又左ヲ移シ右ヲ移シ二ツヲ二ツ
リ又左ヲ移シ右ヲ移シ二ツヲ二ツ
食ヲ以押ヲ云 押リ箸ヲ
箸ヲ付ヲ云 類捻ヲ
入類ヲ捻ヲ切ヲ云 ヲ
又穴箸ヲ上ヲ
ヲ云又類捻ヲ
○ 又立箸。カイツカヒ。モキ食。舌鼓。汁ノ早カケ。尺五寸条見別
傳 此條有九條同本傳故畧之
○ 又コ千箸。廻シ箸。宮工箸。十人箸。狐鬼。犬食。尺六条見
大諸礼集
○ 又汁ノ汁。菜ノ菜。膳ノ前ノ辺。膳越。手越。九物箸。名殘ノ箸。

コギ箸。コミ箸。モキ箸 小串箸。ウツリ箸。箸十二ツ。歯形。凡十
四条見 要約集
○又皇サイ。ウニコシ。タニコシ。ワタリ箸。塩ノ皇テン。豆ノ横箸。
箸ノ横クイ。ヒタクヒ。凡八条見 百ケ条
○又豆ノ横狭。塩ノ串指 凡二条見 三礼口決
△按此二条已見百箇条 以若干異復載之
○又箸十二ツ。ウツリ箸。握リコ箸。モギ食。舐箸。込箸。コチ箸。
掬箸。回シ箸。空箸。受吸。又盛。膳越。大食。凡十四条見 礼筆記
△按此内十条已見諸家傳其所異三條耳
○三礼口訣曰膳ノ酢ヲ其ニ吸(ヒタスカサニウケテ吸)シ但若
年人ハ決メス(カラス又)又物ノクヒサシヲヽウ(シ)
△右ノ外食出シウケクヒ吸出シ箸ノ(カサシ)箸加(詰)リ等アリ此等ノ

一 病不可枚挙 條自案シテ知シ
不吉の条 汁ヲ食ス汁先の条ヲ食ス
△按謂不吉者蓋不在常之事故事ニ反常也然則左右之
先後反前條而可本傳前條已誤故此條亦從宜正焉
前條而至于此皆
○別傳云三ノ膳有ハ本膳ノ後三(行二)行(シ)
一 会ノ又ノ子 先孫ノ出ル時ハ雑ル時ハ先ノ
子ノ子 本膳ノ時ハ汁ノ子ノ出ル
汁ノ又ノ子ノ子 汁ノ又ノ子ノ子ノ子

次ニ三ト替ル本膳ノ汁ノ類ハ二ノ汁ノ通シ

○又云通ノ人待セテ汁吸アレ、

一 会汁再会の時 先客 礼 先客 礼

一 会の湯 会会 湯と客中より先に出すべき方なりとも

為客ニ成不申ル

会の湯を客中より客に成し 沸中より沸

○一伝云湯ノ人ヨリ先ニ受ノム(シ)

○別伝云酒中過湯ノムハ箸ヲトラス凡テ湯茶ハ元くト飲(シ)息

ニノムハ水呑トシテ世せんすり手塩ノ香ノ物湯ノ時喰(シ)湯出サヌ先ニハ喰

三

○要約集曰 箸ヲ取候テ受(シ)又湯ヲウケテ箸ヲ取美陰陽ナラ

イ有ニコトリ

○礼要筆辯曰 尤時宜ニヨリ勝手ヨリ別ノ椀ニモリテ出スコト真ノ饗

應ヨリ又時宜ニヨリサハリカナイロ湯次ニ冷汁如ク持出コモアル

一 飯よりけ汁 飯ハ鉢ノ飯と汁ハ汁ハ

○別伝云貴人ノ前ニテ人ヨリ遅ク食ニ汁カリ(シ)其程ニテ見計ラハカリ

一カラス

○百箇條曰 貴人ヨリ先ニ汁カケ(カラスビロウノ至也)汁カケテ後再進

ウケスムサトシテサイクハス食ヌキニ汁カケ火クワス食ヌキニ汁ハ

ヤノカケ喰納ム

○要約集曰 汁カケル汁ヲメ(ル)中ニシノ候汁カケ候ハ箸先ニテ汁

ノ實ヲ直シ置(シ)

○三礼口決曰 汁実ヲカケ(カラス)汁掛ノ後実喰(カラス)

○一伝云此時ハ外エ且ツカイ有(カラス)

雑煮　右は代第れ其[illegible]

右[illegible]若[illegible]右[illegible]若[illegible]若[illegible]若

冷汁ノ汁ノ椀ニ椀ヨリ出ル椀ノヤウニ赤白ノ色ヲ盛
キ其ノ上ニ蒲鉾ノ物実ノ為ノヤウニ
冷汁ノ上ニ盛リ汁ヲ入ル

○一伝云つし三湯ハ出ス一再進ハ鉢ニ入ル芳飯ハ建久ノ巻狩ノ時ヨリ
始テ有リ

○別伝云菜飯ニ芳飯ニ同ジ但盛方ヲ別ニ盛ル

一 麩類 椀ノ大キサニ盛ル汁ノ中ニ入ル麩ハ赤味ヲ
冷ル也 又汁椀ニ盛ル麩ヲ入レ也

○別伝云麩類喰納モハヤ喰ニシト思ハヽ汁ヲ麩ノ椀ニ入蓋スレモヤウハ
尋主モ強一ヤウニ

○一伝云菜類蒸麦ノ小角ハ少長キ小折敷也三枚ヲ居テ上ニ汁
ノ椀ヲ蓋スル

○小伝云高貴人ハ七度ノ土器ニ桐ノ葉ヲ敷テ進上薄盤ニテモ三
方ニモ進上又大キナル大皿ノ向ヒニ木葉敷テ進上申スヤウ冷汁
入モノ新シキ浅ケノ茶椀ニ入レ

一 蒲鉾 蒲鉾ヲ長サ三寸ニ作ル長サ三寸ニ作ル
左ニ竹ノ如ク作ル
[illegible]
[illegible]
[illegible]

く入合二十二ヒトツヨリ[illegible]
又[illegible]の[illegible]
[illegible]
引書[illegible]
[illegible]
[illegible]
○別伝云真ハ再進ナシ行已下アリ
○[illegible]曰先勝シナンシ右ニテ箸ヲ取持テ初位ヲ取上ケ二箸三箸
ヒ初箸ヲ持ナカラ右ニテ汁ヲ取アケ左ヨリウワシテ汁ヲ吸ハズシテ
実ヲ二箸三箸ノイテ又右ニ取ウワシテ下ニシキ又メシヲ二箸クヒテ前
如ノ汁ヲ取テ実シクフシ三度目ハ汁ヲ吸テ実ヲ不喰シテ其時本
膳ノ中ヨリ左ノ隅右ノ隅ヲフシ
一義一献　[illegible]
天目の[illegible]

[illegible]
天目斗れ初献[illegible]
次菓子出る
次義出る次[illegible]
[illegible]
[illegible]

[illegible]

○小伝云一羹一膳ノ時ハ湯出テ其後茶次羊羹次麩出テ二羹

二麩ノ時ハ先タウ出テ御茶参テ次羊羹次饅頭次麩可出也　先汁ヲ受テ後箸ヲ取テ饅頭ヨリ二ツニリ半ハ右ヲ入左ヲ其ニツノフ(ニ条一字サケテ居シ)シ若キ人ハ汁吸サルカヨシ

○又云酥サイハ大キニ盛タルカ饅頭ノ酥サイナリ少キハ変ノ茶ナリ但大キナリ氏青ニテ入タルハムキノト心得シ　饅頭ノ酥サイハ若キ人ナトハリタルトテ箸ヲ付ルアシキナリ

○百ケ条曰ムシキ変ハ小角三枚カ五枚モ有シ其ハ汁椀ヲフタシニシテ出シ其時左ニタル四ヲ取右ノ脇ニ直シテ其跡ヲヒキナリ扨麩ヲ入テ椀ニロヲツケテソロヘト喰シスリヒアケテノ中ニテノチニ入ルイアレシノ候扨コセウチトハワカキ人ナトハ入(カラス四ヨリ上ハ入テモ苦シカラスサイハ酥サイタル)シ

○又曰一ニンチウハ食ノ椀ニ三ツ入テ汁ノ椀ヲフタシニシテ出ス(シ

○要約集曰饅頭コレモ土器ニ五ツ入テ出ル也下ニハ土器皇テアリ汁出

八方ノ汁椀ノ在所（両手ニテヨせ上ノ三チウ入ル土器ヲ左食
椀ノアル所（ヨせ扣汁ヲウケルナリ云々箸持ナカラ三チウヲ取フリレヲ
先（ナレ竪ニメ両手ニテ押付ラメワリニスレ云々犹ダ八左ニテ
土器ヨリ取フリレヲ先（ナレ竪ニテ喰申候二度目ハワリ申サス候
五十カラモ給候ナリ

△按小笠原家伝以饅頭為麪之一今本伝以饅頭混置羹麪之間因按小笠原伝二羹二麪之次序先出二羹次出饅頭以出蒸麦則本伝之文蓋脱一餡羹而誤為一羹一麪也如不然則省饅頭可也不省饅頭則加餡羹而為二羹二麪可也凡称麪者以小麦制之一不拘一宗麪一饅頭共為三麪今降饅頭則其一麪無可備之予是以従小笠原伝以饅頭為麪之一耳

ゑちの制　米の形　胡椒　海良　山椒　桂　ゑの形　各ゑ今

○一伝云肉桂少陳皮大山椒少梨大胡椒少ナリモロコシヲ加ルモアリ舌ニ溜ラアラシ

一　ゑの名称　上ゑ　ゑ　ゑ　

○中伝云雁鳥ノ汁ニスル時ハ足ヲ横ニ細ク切テ少シツヽ上ニモルコレ
ハ鷹鴨斗リ
○又云雲雀ハカケ爪ヲ残スカケ爪ヲ残スハヒバリ斗リ
○一伝云雲雀喰ヤウハカケ爪ヨリ食始是ニ限リ逆爪ヲ残ス
△按二伝残爪ヲ不残爪反ス未知孰是也
○小異伝云足ヨリ食首ト足トヲ残ス
○又云鶉ハ首ヨリ喰足ヲ残ス
○小伝云箸ハ野カケ又ハ自然鷹ノ鳥斗ナト着ニ出ル時ハ箸ヲスエルヲ食ナトノ時中酒ノ引物ナトノ外ニ出ル時ハスヱシキリ凡テ鷹ノ鳥汁ニスル時ハ器箸リ
○要約集曰イカニ賞スベキトテモ汁ヲ熱キ又手ナトヲ取候テ喰ヒ
ガラニ有恂敷候然ル鷹鳥ニ箸付ル事ナモノナレバ人ニヨリ其時ノ
品心持ヲ見ル

○又曰惣別鷹ノ鶴雁鴻鷺鳥ナトモ汁ニスルハ器箸リ若汁ニ
スル時ハ初ノ一ハイヲハ汁ナシニ出シ後ニ入ルベキリ
○礼要筆釋曰焼鳥ニシテカンナカケニカイシキヲ敷出シ此時ハ持上
ケ蠻キ左ニテ持右ニテ箸持ナカラツヽミテ喰シ亭主出シ候ハ
礼ヲ云シ雁鴨鶴雉ニテモ焼ルカ本式リ汁ニスルハ器箸也
一
○別伝云
一
○小伝云
一
赤飯強飯

△按要約集及之者非矣

一 粽ノ作リ方 [illegible] 葉を末の方より細くして [illegible] 押ト板トを指合せ [illegible] 細くして [illegible] 押ト板

○一伝云 [illegible] 若衆ハ一宛ホトリ(シ)壮年ハ甘テアシ

○一伝云 草ノ葉先ノ方食ノ人ノ右エナ(シ)食時ハ節ト取ノ持上テ扱草ノ葉ノ本ノカタヲ上(サシ)テ持左ニ粽ヲ持右ニテ巻目ヲホトキテクフ(シ)

○百ケ条曰 弱ヲニツ三ツホトキテ扱下(シ)シ[illegible]テ箸ニサシテクフ(シ)塩ヲ箸ニサシテ三度クフナリ又ワカメナト[illegible]手ニテ取テクフ(シ)サイハワカメナル(シ)

一 干飯 米粽扱ヲ飯入[illegible]扱ヲ[illegible]

○百箇条曰 箸ハカタレアル(シ)其箸ヲ乱左ニ干飯ヲ取テ水ヲウケ箸ニ[illegible]カキ立ソロヘトクミクフ(シ)扱塩ヲバ箸ニサシテ喰(シ)水ヲバ茶度モウケテ喰(シ)塩ヲバ二度カ三度ヲ也其ヨリシタハ無用ナリ扱塩ヲ口ヘウチ込扱ヲ飯ヲ喰フ要ノ候

○一伝云 此時納ニ水ヲ吞ハ一息ニノム(シ)如陽ガクレト吞ハアシ

一 [illegible]

[illegible]

○別伝云其侭食し喰ひ口ノ見ハサル様ニス
○又云両手合持ウラヲ割カケニシテ再ニ押離ニシテアシノコホレサル三至
テ左ニテ喰し米ハ三把ニ取 今用
○又云小人ハ四ニ割進スし 小伝三ニワリ
○小伝云本式ハカニナカケニ杉原敷テ出ス

米饼の菓子 〃 図

○別伝云杉ノ葉ニ合セ杉ノ葉ニ杉ノ葉ハ中ノ方ノ狭ニ米
饼ハ上ノ方ノ菓ノ如ク杉ノ葉ニ杉ノ葉ニ置キ重ル石ノ様ノ様ニ
〃 重ル 但饼ハ杉ノ葉ニ杉ノ葉ニ

米の子 こまつ 杉ノ葉ニ杉ノ葉ニ利ノ葉ニ
〃 〃 〃

[illegible]

一 冷汁 閑

○小傳云冷汁のことは[illegible]

冷汁(冷を清く冷軍)又[illegible]

○一傳云冷汁を引物つぐことは[illegible]

清く[illegible]

一 三[illegible]人[illegible]祝儀物 [illegible]紙或[illegible]

清[illegible]

○別伝云貴人ノ引物ニ汁アラハカサニ受レ然ハ自カサヲ持テ有レ

向ヘ渡スヘカラス

一 [illegible]書云[illegible]の間三[illegible]

[illegible]

[illegible]

左

[illegible]二[illegible]

大[illegible]

又云中[illegible]

[illegible]

○別伝云貴人御手ヨリ被下物ハ何ニヨラス皮ヲムカスニクフヤリ

一 我[illegible]再[illegible]の者[illegible]物 [illegible]又[illegible]

物[illegible]

○小伝云人ノ物ヲモライタラハ返スヘカラス

一 [illegible]中[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○別伝云常ニ上座下座トモニ膳持テ立ヘカラス不吉ナリ其ヲ置

上座（断テ立ツル

一 搗部氣の生物　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

○熟田尊命記曰　宇賀神社ハ本朝衣食ノ祖ニシテ蒼生安逸ノ神ナリ故ニ古ハ天子諸侯ヨリ一民盤ニ置テ以テ此神ヲ祭リ玉フ今モ玉ハサル已前先ヅ許ノ飯ヲ盤ニ置テ以テ此神ヲ祭リ玉フ今モ朝廷御取物トシテ朝餉ニ奉ル是ヲ取テ飯ヲ祭リ玉フハ即此義ナリ然ルニ俗屠氏誤テ生飯トメ今朝ノ礼ヲ忘ル非ナカラン

一 菓　[illegible]

上字の[illegible]

又[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

一 燒物　[illegible]

蛸　[illegible]

元来青物ヨリ小付

一 辛螺の蓋を焼き[illegible]

一 飯食後[illegible]

一付

○小伝云 雑ハ折テ上ヨリ喰 鮓ハ下ヨリ喰

一 冷し物を椀の所へ入る時ハ水物採の事ヨリ一付

代飯 そうめの青又ハ[illegible]の初ものを[illegible]

[illegible]

代の下より前へ出ること[illegible]

[illegible]

[illegible]

△按諸傳大低似矣其如小笠原傳者愛其長而折之実用長揚枝者不礼也然如本傳而還之而可也如其嫌不清潔依此法則非矣然則上箸示懷之欲示棄之地欲蓋近世習於茶家之法者多矣然平常習於此者恐過矣

一点心の菓子を楊枝にて切て出すを不用箸にて出す

○要約集曰点心の上の添肴い汁を不吸して手に持上て喰し箸い本膳に置て云い美饅頭変ず卜蔵司前に出スヲ點心ト云ムナリ

○小笠原伝 出自小笠原長好真慶而斯次至土方吉左エ門其所得 池甚之丞真成四伝而

一五寸所

図

一るの胴地と同一素材の時を用ひるといふ

一三寸位

○異伝云青禎ノ紬い懐一入ヲ用ひ

一三寸位

人ひとり

○要約集曰手長ノ衆一同ニ二人ツヽ置アリ

一三寸位

○異伝云向ヲ居ル人左ニヒラクナラサレ右ニモ同ノ△此左右未詳

左右字相反而可

一 [illegible]三[illegible]三[illegible]兵[illegible]　長[illegible]持[illegible]る[illegible]　[illegible]盤の[illegible]ろ
[illegible]一[illegible]方の[illegible]
[illegible]
[illegible]持[illegible]兵[illegible]三[illegible]
（按此條書法精妙見存二字口授而不更言之書）

一 [illegible]の[illegible]兵[illegible]　[illegible]の[illegible]兵[illegible]
[illegible]
[illegible]二三の[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]兵[illegible]婚[illegible]　[illegible]兵[illegible]同[illegible]婚[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]兵甲乙　婚[illegible]兵[illegible]二[illegible]
[illegible]

一 [illegible]婚[illegible]兵[illegible]婚[illegible]兵[illegible]
[illegible]二[illegible]兵[illegible]
[illegible]婚[illegible]兵[illegible]
[illegible]二[illegible]兵[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 [illegible]兵[illegible]
[illegible]
[illegible]

一 門跡法圓の事　[illegible]

[illegible]

一 門跡の母を　門者の[illegible]母を[illegible]

[illegible]

一 金錢出表　[illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]

[illegible]

[illegible]

一 貴人ノ引物ハカサヲ向ヒ度サズ

○別伝云貴人ノ引物ハカサヲ向ヒ度サズ

一 主ノ物

[illegible]

一 食ノ前ノ物

○異伝云三方又ハ足打（キ三度ハ）

（按殺物故一本ニ詳或一人之客歟）

一 [illegible]

○別伝云小角ニ箸ヲサシ食箸ノ上ニシキ持出小角取箸ノ扱右ニ持食

箸ノ蓋アケ箸ヲ小角持之（シ）

○要約集曰 箸ヲ紙ニ包紙ニ節シタテ上ヲ一下ヲ一見テ箸サキノ

方ヲ一寸斗ヨリ其折角方ヲ左ニシテ食籠ノ上ニ置レ云々剔金
ヲトノフタヲハ後ケニヲリ黒又リトノ蓋ヲハ仰ケテヲクヤリ此時ハ箸ヲ
ハ蓋ノ内ヘモタセテ置レ扨箸ヲ右ニテ取左手ノ包紙ヲハ食籠ノ
フタニ入箸ヲ食籠ノ上ニシキ候云々又食籠ノ蓋ノ上ニ小角ニ箸ヲ
ノセテ参ニテ下ニ置先小角ヲ取箸ヲスキテ右ニ持フタヲアケテ箸ヲ
ヲキ小角ヲハ蓋ノ中ヘ入取テ解レ(レカヤウノ時ハ蓋ヲ仰ケテヲクノ也)

○又回食籠ハ折土器ノ物トカハル(レ御座敷中頃ノ時分出ラヨシ本
式ノ時ハ何献モアレ折取ス(イカホトモ出ス(レ御酒ノ少献ニ有キハ
二ツモ三ツモ出ス(レ一度ニ出スヤウニハ有(カラス候ヘ

一清盃献ノ事　食事ノ(ハ清盃献ノ後盃献ノ事
酌出ス事(　出ス事ノ(ハ後ノ献ノ事ニ
△按此條宜在酌篇然有少不可易者故又改之

一菓子ノ事　今ノ世出ス事(ハ献ノ菓子ノ事ニ
樹ノ上ニ菓子ノ事了

一献今ハ出ス事ハ菓子ノ盃ノ事
一盃(　盃ノ事(ハ
酒ノ事(　酒ノ事(ハ
一肴物ノ事　肴ノ物ノ事
肴物ノ次ノ献ノ事　又肴物ノ次ノ献ノ事
ヲクヤウニ菓子ノ事ヲ
燗菓子ノ事　燗菓子ノ事
三ツ重ノ事　三ツ重ノ事
ヲ上ノ事ノ三ツ重ノ中ニ重ヲ上ニ重ヲ又ヲ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

○按凡侍社於貴人必不帶刀然至出更言不帶刀者恐他
有失也蓋出羽尾一向[illegible]切[illegible]家者流之法而云不耳
一火[illegible]切[illegible]除[illegible]不用少人の方[illegible]の子と
る〻火[illegible]と少人の方[illegible]
一菓子の庖丁　皮の庖丁七刀半より[illegible]半の皮[illegible]

[illegible]と[illegible]切〻小刀とする[illegible]
皮と切り[illegible]
[illegible]

○小伝云六刀半ニムキテ土用ノ内ハ刀目入レス土用前後ハ竪三刀目
ヲ入テ輪切ニスルなり
○小異伝云土用中ハ六刀スキテハ六刀半
柿の庖丁ハとしき二てよつり〻柿をれ〻又横よ切り
三ツ庖〻柿ハ[illegible]と帯の所ハ左ヨリ又云ふる柿又さ
き二て割〻ハ中ヨリむく半ハ横刀不用
○小異伝云キサワシハ横ヨリムキ帯ニテ切留紙ニ廿四ニキリ進ス
○ロ子リハ二ニ割脇ヨリムキ四ニキリテ進ス
熟柿を天目ハ水入すき〻上庖〻ハ[illegible]と[illegible]ハ新
[illegible]紙とする上ハ[illegible]

柳を焼もしきりに刻みまぜ〳〵

○別伝云二三ワリカケ進ス

○小伝云アトサキヲトリ紙ニノセ

剣を焼もしき紙数編切り〳〵全上紙を折其上り〳〵

切る〳〵

○小伝云客三四人さゝハ皮ムキテ編ノ所ヲ軸ニ四ニ割〳〵し其後上

ヲ二三割順ニ切〳〵し軸ヲ賞数ス人数所作花易カラス

○小異伝云蒼ハ皮ヲムカス夏ハムキテ出ス

客林を小刀〳〵に切り刀目を付平に全る

○別伝云ノテニ三又ギ刀目ヲ入ニカンヲ二ニ割本ノ如ク皮ヲ合せ

カケテ進ス

○百箇条曰 ミツカヒシハ三ワリテ皮ヲトリテノ食し

○小異伝云二ツ分ヲノヒ一ツ分ノコス

一 青〔左ノ二〕後袴ノ刀の所を考所記をけり〳〵山力を花

ゆきを盃〳〵牛蒡を左の様ニ拵む

一 土佐〳〵夏ひきを所を〳〵落ちの れる〳〵 所みを以菓子

杯の所を中盃〳〵以菓の所を中盃〳〵すの所を盃に物おて盛れ

一 夏を者物を二の様ニ拵ケ本盃ニ盛り〳〵

冬を二ツ能本ニ者物半分

盃〳〵 汁再度の所も家ノ盃〳〵

一 振とる事初鮒の吸物出ハ其後振を出也 礼要筆辯

一 振鉢といふ事鉢ひきを鉢ひきもよし去る〳〵当代を中酒の

鉢を焼もしきりに刻みまぜ〳〵

小刀〳〵に切り全上〳〵

○

絵半一

[illegible]二の搭三の搭[illegible]門物[illegible]遠の[illegible]次第[illegible]本

搭[illegible]又其[illegible]も[illegible]論[illegible]

二搭[illegible]三の搭[illegible]門物[illegible]

方[illegible]門[illegible]異伝

安約集

小角小槌幸螺蛇の[illegible]

[illegible]盞のごとく[illegible]

[illegible]図[illegible]同上

[illegible]門[illegible]

小異○異伝又之

折[illegible]十[illegible]十[illegible]

物[illegible]

祝要筆辯

○小伝云折[illegible]足ヲ付ル[illegible]又云折ハ甲之アルヲ折[illegible]何

ヲ折ト云也

○小異伝云折ノ上ノギヲ菓子ヲ出シ進ス

折[illegible]

○小伝云供饗ニハ杉原敷[illegible]但土器スエル

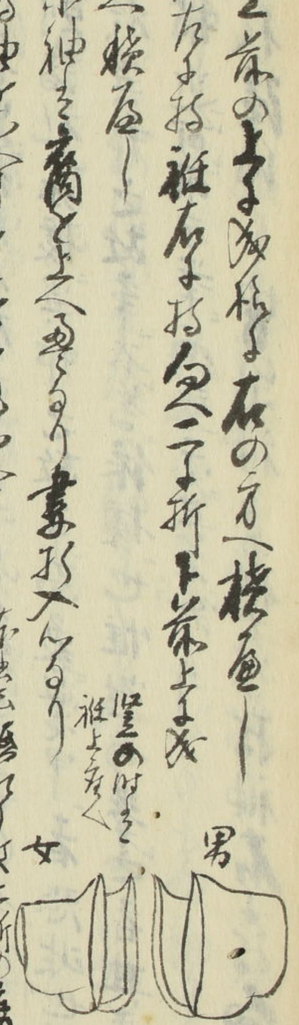
廣蓋 [illegible]

[illegible]

[illegible]

[

折〻上茅の上より後板より右の方へ横板一
女の神代より初祖より白二て折上茅上より
板より左へ横板一
結納の小神と腐と上へ乗るより素形入るより
婚礼の所神と申すより出る神と申すより
軍法の出板も神と申すより右より左へつもり板一
亟法の出し板より 御神より初
一 同上中下乗板 二て折より上へ腐より祖也〻 右中と祖
腐なる〻下と祖より腐也〻
女より出る腐下へ打〻



一 同男女 右書云男より女へ婚礼所女の茅
也女より男へ立て男の次第より
一 同男の事板 書と上茅と赤林と白みと墨色

茅と中より白茅より除く〻
御飯の小神厨子中同白と云
腐なる所板 右より中お茅の茅三尺
下〻〻右の揉〻〻腐蓋の角を右の板より白〻
亟色〻 其所茅去而〻法〻 袖祖〻〻〻
右出云上中下ともよ祖白〻〻〻
一 同元板 小神元〻〻〻

[illegible]

一 小袖懸紙法式

[illegible]

一 婚礼重小袖 [illegible]式三重[illegible]

[illegible]

△按此條之疑蓋納帯也納帯之法見下婚姻條因類故又在此編焉而与下婚姻篇似異矣亦似遺於人之言也矣宜併見焉

一 同上紙付物 常常[illegible]

[illegible]

○按云[illegible]小袖懸紙[illegible]

一 不表小袖 [illegible]

[illegible]

一 紙物 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]布団 [illegible]

[illegible]

一 上下 衣冠より下上下上と続き候へ共折り目人
の方へ上をかくなり

一 裃小袖垂衣 月次祝 九月次裃小袖と続裃上下小袖
下方也 こまかき小袖なり

一 帷子軍扇垂衣 ひろき二の肩先軍扇下方
より横長なり 又軍扇と 女くし横くしより横納帷子
と 家臣 士の上下 おなじ 又軍のなり 又軍のなり
上下と上下と上下と 衣冠より始て 神のようつみを
くし 神と 少 紙と上下と 出家と

一 狩衣上下垂衣 上下上下 狩衣と小袖の肩
を狩衣と小袖下男女の狩衣 又狩衣と小袖の肩
くし 神の上へ くし 紙垂と上下と

○一伝云 徒納ノ下座ト云ハ ト曰ク義ナリ

一 大紋素袍 大紋上素袍 袴を袴と下へ袴
を袴と上へ袴

○装束要領抄曰 布直垂武家五位諸大夫摂家清華ノ輩
大或ハ地下ノ諸士官人事ニヨリ着用又憚テ直垂ハ襲ノ時ノ一也
布直垂俗ニ是ヲ大紋トイフ 大ナル紋付タル故ニヤ素襖袴ト号
リハ曾紋 折紐ト革緒トノ違ナリ

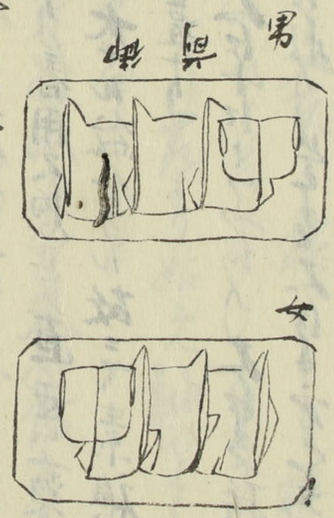
一 狩衣大口 狩衣袴 大口ハ袴ト云ハ
ハ小袖ノ上ノ小袖ノ形 袴ハ大口ト云 袴
大口ハ袴ヨリ広ク 袴ハ袴ヨリ広ク 袴ハ袴の袴 袴ハ袴
ヨリ云

○装束要領抄曰 凡狩衣ハ大納言以下着用ノヨシナリ 武家ニ於テ
ハ諸大夫着用ノヨシナリ ○又云 狩衣トイヒ候テモ布衣トイヒ候テ
モ裁縫イサヽカ替リ候ヘ十ノ候

○ 塩尻寮抄曰 くくりライレ子ハ口ヲ廣ク故ニ大口ト云カ但清少納言枕草子ニハ大口長サ四ツ廣ケレバト云シ主上ノ召給御大口ハ女房袴樣ニ長クウチハヘタレハ口ヲハ長サ四ツ せバキカ云シ

① さくの事故思ハシク

拾遺



一 小神の神とつまとなりて
ふたりとなりてこの道所をて
ちはやふる神のまへ神とてふ
まへにくるしくさるなり

一 小神ハ十もはなれ二人も三人も
なりぬれば 右舞出て中宮のまへ 右舞
小神ハ中宮ハ 右の方 婚礼ハ 右ハ
中宮ハ 婚礼ハ 左男 慰事

見ハ左ハ 婚礼ハ 中宮ハ 右ハ
婚礼ハ 二人の小神を 腐ハ 左ハ 又 賀の方 其 右ハ
小神を 腐 折 右 陰陽 書 折 左 蓋
一 金二百代の一枚 二枚の中ハ 右 折紙 慰事 小神の
くさ 慰事 慰事 右 右の方の 一百代 右の方の 我 慰事
百 慰 慰事 同 事
一 大神の事 茅 大神 神 小神 友 小神と云 壮長宋図式
△ 按謂小神之義蓋出於此焉故姑列之證其由云

書礼大全抄

一 人名称

[illegible]

[illegible]

[illegible]

[illegible]

一 楽字書様　飯管教

[illegible]

一 書中一の極書　書様

[illegible]

又字の様は墨うすき

[illegible]

[illegible]

[illegible]

下陸之事

書状并目録等之様事

書状之事 以下之使者進之

一 書状判形 [illegible]

[illegible]

書之

[illegible]

[illegible]

[illegible]

王公首　臣　造直　長寸　縣主　村主　神主
使主　人　伊奈吉　史　勝　部　氏　伊士
阿祇奈君　倉人

一

紙制　所抄ノ

一　目録紙　大ル檀紙ヲ禁裏ニ奉ル
又ハ檀紙ヲ小ニ切テ又ハ切ル
ヲ一枚ヲ以テ小ニ切テ折ル

吉原長年伝云　二張云ヲ以テ目録ハ檀紙小ニ檀
紙ヲ二ツ折ニ折テ用ル
ヲ以テ小ル余
ヲ以テ大ニ用ル

一　懸紙　ヲ以テ大ニ用ル　卿ヲ
中ニ

○此下人ノ上ニ書ノ懸紙ヲ宣旨紙ト云
ヲ以テ用ル

一　懸紙　懸紙ヲ紙ノ
式ノ懸ヲ用ル

一　口宣案宣旨紙

有職小説　云口宣案二通　宣旨紙ハ懸ヲ宣旨紙
懸紙ヲ
又云宣紙水雲紙ヲ云フ　懸紙ヲ用ル
三礼口決　云凡公家ヲ時ノ書状ノ宣紙ヲ用ル
ノ紙ヲ上ヲ切ル　上ヲ切ル
折ル

一　礼紙　礼紙ハ白紙
上ヲ生書ノ礼ヲ

一 礼紙を黒紙と云ふ 横紙なり 左紙の紙を書なり
一 五位左紙の礼紙 五位を上なり 左紙二枚 礼紙一枚
色紙なり 六位なり 中下なり 左紙一枚 礼紙一枚
上なり 左紙なり 三枚なり 左紙の礼紙と小文の礼紙とも云
年書の礼紙と申す 折〻二つ切〻 又三つ〻
二つ〻と左紙より 二枚 左紙の礼紙 今
下なり と 礼紙より切上なり 左紙の礼紙と云
黒紙より 小きなる小文の礼紙と云 下同
一 云の書 加級 中四位 加級 神社の数を中より 云
八幡 二条 中四位 一枚 降き 二枚目 裏の白き
加級 一枚 降き 今 二枚目の表より出 中 除
表 別 云 加級 神社 端を 表より 下同
一 額 宮内省 旧勅額 六枚 黒 文字より書

一 勅書 三社の額を横額〻〻 横文字より出 〻
大内記黄紙 内奏事の所 書勅書 書
内奏と云

一 院宮 院の内所 所
一 令旨 石清水より 所と云
一 官符宮 石宮の内書
一 宮令 採数 白 云 の出 〻 宮令 文 皆以黄紙書之 但奉伊勢太神宮
宣旨書内記式 云凡宮令文皆以黄紙書之 但奉伊勢太神宮
文以縹紙 昏 加茂社以紅紙 昏
一 内書 今世 不 除 法 除 月日
年号 内書 内書と 少文 内 出
文 曽異伝 嵯代 内書

為瑞年々高位帳に筆師数十人
おゆゑ〳〵領地に移住仕
雅楽頭殿
屋敷
中間之長
一寺方知行目録書方　中間
石一百石より上は三十石迄は出別
帳に出す
一法度
一接　公方の法度を接と云
晉調集云代〳〵書と有るゆへこの用併制札すべし
筒礼集云接と書きてつねわつり一家の法度を成接と
中ごろ
可ならん公家の十七条武家の十三ヶ条等接なり

一寺方目録並合附書法　中書
吉良伝云折紙を立てより公方へ上る
折紙を上の方の紙と長く間の文字の数の紙を二ツ半
切にして折る二ツ半切にして法の字を分ける
ハ紙
切にして折る　是を自録と号する
八幡の折紙半切にして大秘法の版なり　地流より
と云ふ　折紙書様のるき
御刀一腰白張法馬一疋芦毛
是を公方様より折紙なり芦毛
の一疋は八幡より
金子八枚　金子八枚　金子八枚
金子八枚　金子八枚　金子八枚
物をおさめ入られる門公ひさげ

[illegible]

[illegible]

[illegible]

長和院様人全砂　長州　山本武平様安　参補

○長刀

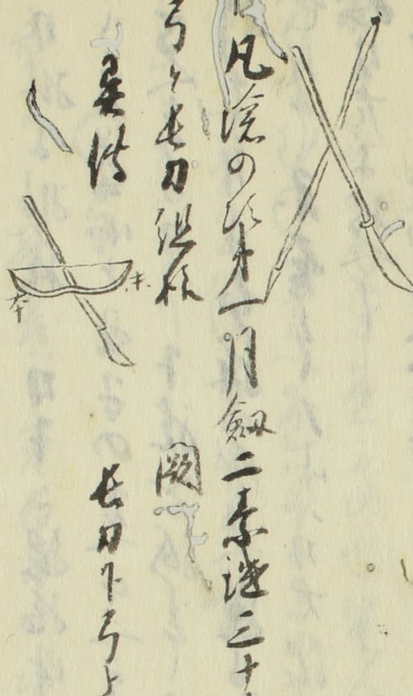
一後長刀法様　図

長柄之長刀と後ろ[illegible]法様

凡後の柄一間余二寸巾二寸巾二寸巾

一弓ゝ長刀法様　図

長柄　長刀ゝ弓と



一四ゝ排ゝ[illegible]柄之外に[illegible]

○刀振括

一刀掛ル掛紙　刀ト云ハ振括中廻ヲ亟ル　切先ヲ人
ニ方並ヒ上ル子ノ方ヘ出シ
ニ方ヘ上ル口　下紙ニ紙一枚横ニ巻ラ
ル　紙ヲ巻ル口紙ノ巻ヘ逆ニ入小反ノ耳ヲ結ブ巻
也見テ不ル大小八刀右振括ル又ハ刀八刀
大刀左ヨリ振ヘシ
一鎧ノ出物ノ大小返ヲ　巻ル女房衆ノ何ノ
ヘ切紙ヲ結ル結ル方ノ間ヲ切紙ヲ結ル見ル
振ル返ヲ返ヲ巻ル　新表ヲ結ル
返ヲ巻ル
一下結紙巻紙　結紙ヲ人ノ前ニ巻ル結ル

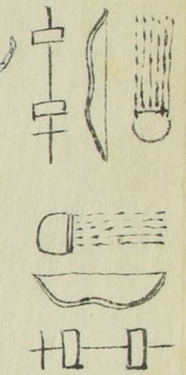
大ノ結紙ノ返也　逆ノ結紙ヲ巻ル　結紙ヲ巻ル
書云ヲ結ヲ巻ル出ル　結ル巻ル方ヲ逆ニ巻ル也
ヲ巻ル用ル　用ル也　巻ル　巻ル

△按此上句似難會焉下緒當作刀而繰方字上當
置下緒二字始明矣

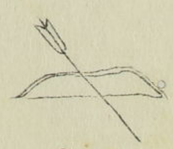
巻ヲ巻ノ巻ヲ巻ヲ巻ル也　巻ル人ノ無解　刀ノ巻刀ヲ巻ヲ
巻ル巻ル○ノ方ヘ巻ル方ヲ巻ル也　不書ル所ハ
巻方ヘ巻ル巻方逆角ノ巻ル巻　人ノ巻ル所ヲ巻ル

○弓

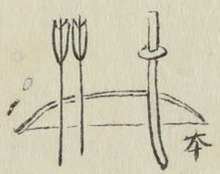
一弦巻　弦巻ヲ上ル　白木中塗木ヲ次也
弓敷尻筈　敷ヲ上ル中　矢筈下ヲ又横ヲ敷白弓中矢
筈前ヘ敷ヲ巻ル　敷ヲ巻ル下ヲ巻ル　白ヲ巻ル矢

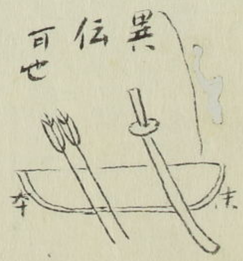


弓矢組様 弓先太矢尾下より垂矢上
巻組一ノ形紙を面より弦弓の下へ付て結上義まれ
巻立為一



弓矢右日組様 太の中の円上異



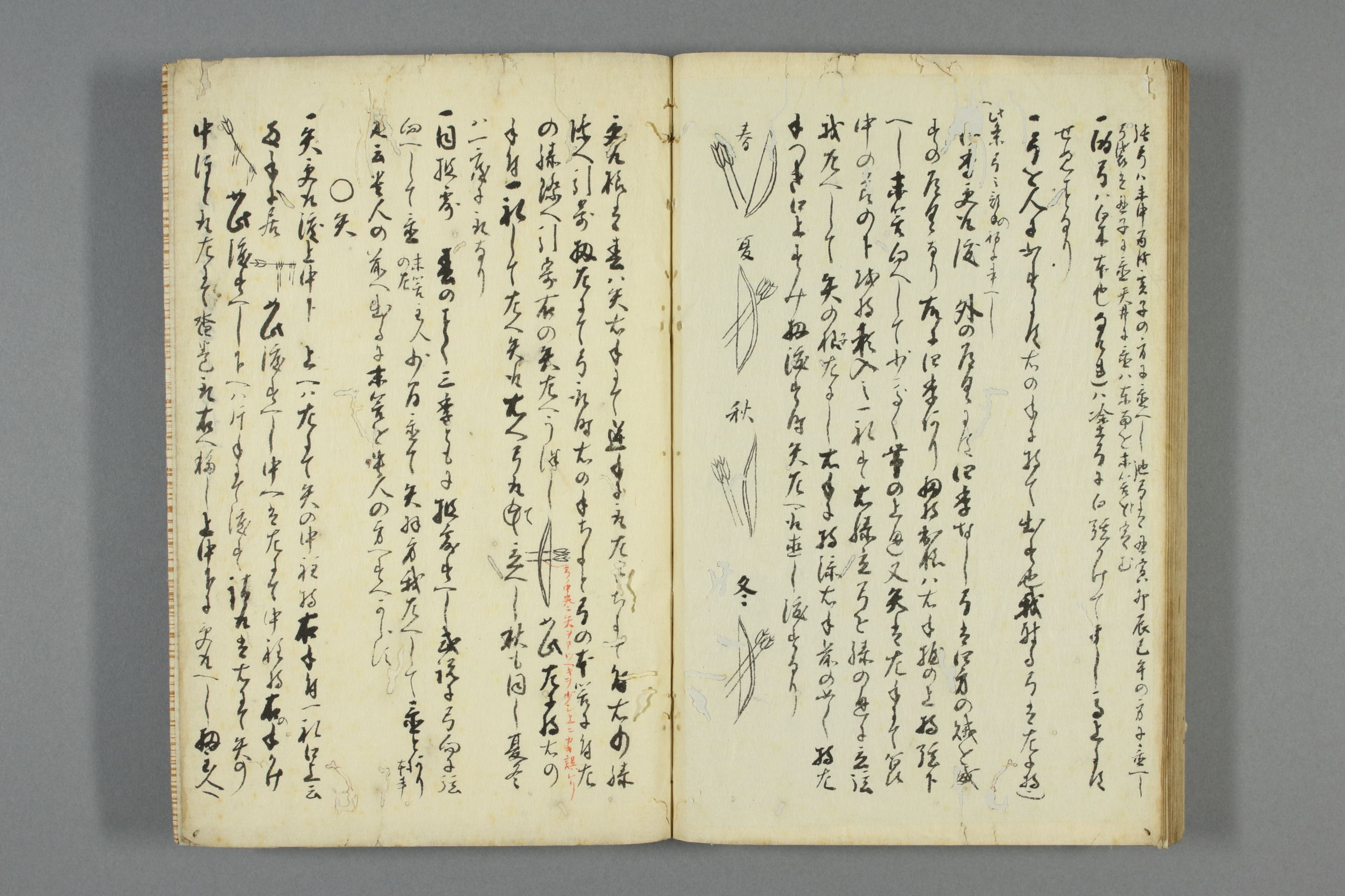


弓法と生来正面相つ様家相小角ゆること多ハ十重と
心立人とはまとゆ人の弓ハ人の弓を法出て又ハ立て
行ハ立人の方へ接せ中ハ開き条紙を巻ようけ矢長
て様のよう垂弦ようと云ワケ巻ようけ一つのとし

法教弓を立てこゆりと垂一紙所つ法ハ定して
重ヲ一
弓法ハ 祈祷を為りと云事又ちくと二
ヲ法ハ為り 道人小用ハ先ヲ近一先ヲ遠一 梅
三方ハ長産所を 巻弓ヲ一ハ軍法を一ハ大の様
つき左様立て為ようけそ弦ハ
○小伝云用心ノ弦打ハ四二ト ハ神前或ハ物ノケハ七五三産所
ノ弦打陰陽ノ習リ
○一伝云常ハ三ヲ四ヲ小重ヲ三ツメ早ク又軍陣ハ一打三
ヲ間遠ノ打一
○又云鳴弦ハ修ヲ九ト云一

稽古

二方年より弓勇ハ小伝ハ此ヲ以て未巻面了 小伝下同



[illegible]

[illegible]

[illegible]